

# 高知県香美郡物部村庄谷相方言のアスペクト

上野 智子

## I. はじめに

- (1) 調査対象地：香美郡物部村は高知県西部の物部川上流域に位置する。物部川とその支流が網の目のように走り、国道195号線が縦貫し、北に徳島県木頭村・祖谷山村と隣接した、平家伝説を伝える村である。東北端には剣山国定公園が広がり、村内の約50%が奥物部県立自然公園に指定されている。農林業が中心で、ユズ・茶・ショウガ・銀杏・ワサビなどの栽培や伐採周期の短い短伐期林業も行われている。近年は過疎化が激しく、過去30年間の人口減少率は60%以上で、県下でも有数の人口激減地区になっており、現在、村の総人口は3700人余りである。庄谷相(しょうたにあい)は村の入口、西端部に位置した小集落で、香美郡香北町に隣接し、高知市からは約35km、車で約1時間のところにある。
- (2) 調査年月日時：1994年4月9日 午後1時40分～4時
- (3) 話者：笹岡雄喜 大正15年9月25日生(67歳) 主婦 16歳まで庄谷相に住み、その後、高知市・香美郡野市町を経て、26歳～35歳は再び庄谷相に戻って結婚し、商店を営む。さらに、高知市に移り住み、現在に至っている。いずれの地も東ことばの地域であるが、話者の内省では物部村と高知市とでは違うところがあるという。しかし、アスペクトに関する限り、両者の差異は認められないようである。
- (4) 調査者・調査場所：上野智子、話者宅の居間
- (5) 調査方法・調査時の状況：質問法による。調査の主旨がよく理解されており、一部を除いて回答はきわめてスムーズになされた。後日、確認のための補足的質問を行った。
- (6) 表記方法：高い部分に            を付す。回答事象が文形態をとるものは共通語訳を添えた。

## II. 調査結果

1. (昔は) よく行ったものだね      ヨー    イキヨッタ
2. (あのころは) おもしろかったなあ      オモシロカッタ
3. (もうちょっとで) 落ちるところだった      ①オチヨッタ／②オチカケトッタ
4. (今にも) 落ちそうだよ      ①オチユー    ゾネー／②オチカカッチュー    ゾネー 話者は①の方をよく使う。
5. (財布を) 落として                 ①ウシノーテ／△②オトシテ
6. 困っている      ①ヨワッチュー／②コマリユ
7. (一本の蠟燭が今にも) 消えそうだよ      ①キエカカリソーニ    ナリユ    デー／②キエカカッチュー
8. (今) 消えようとする(瞬間)                 ①キエユ／②キエカカッチュー
9. (完全に) 消えた(瞬間)      キエタ
10. (すでに) 消えていたよ      ①キエテシモータ    デー／②キエチョッタ    ヨー

11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた キエテイキユー
12. (何本もの蠟燭が次々) 消えていくなあ キエユ ナー
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ キエカカリユー
14. (何本もの蠟燭が全部) 消えているよ キエテシモーチュー ネー
15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ フキケシユー
16. (もう全部) 消しているか ①キエチュー カ/②ケシテクレチュー カ/③ケシ  
チュー カ
17. (今にも桜が) 散りそうだ イッキニ チリゾーニ ナツタ
18. (ちらほらと) 散り始めた ①チリダシタ/②チリハジメタ
19. (今現に) 散っている ①チリヨル/②チリユー 話者は①を使うことが多い。①  
②ともに物部村・高知市で用いる。
20. (桜の木がすっかり) 散っている ①チツチュー/②チツチヨル
21. (地面一面に) 散っている ①チツテシモーチュー/②チツテシモータ
22. 今にも降りそうだ ①イマニモ フリゾーニ ナツタ ノー。/②マタ フリゾー  
ナ/③サダチソーナ 夏の俄か雨に用いる。年配の人のことば。
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ フリゾーニ ナツテ ヨワツタ ガ。
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ アメガ フリヨツタキニ ザンネンヤ  
ツタ。雨が降っていたから残念だった。
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ヨガ アケカケタ
26. (来年の今ごろは家を) 建てている (最中) タテユー サイチューヤキ。建てて  
いる最中だから。
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている イエモ タテアガル ツモリヤキー。  
家も建てあがる (完成する) つもりだから。
28. (あの家はよく) 磨いてある ハシラモ コジャント リグッテ ミガイチューキ。  
柱も十二分に念を入れて磨いているから。
29. (隣の犬が) 鳴いている ホエマクリユー
30. (隣の子が) 泣いている ①ナキサカッチュー/②ナキンサイチュー 「泣きの最  
中」か?
31. (こどもたちが) 喧嘩している ケンカシユー
32. (家に) いるかなあ オルロー カ ドージャオ。いるだろうか、どうだろう。
33. (〇〇さんは) いるか オル カネー
34. (ああ) いるよ オル ヨ
35. (そういう人も) いるよ オル ト
36. (あなたは今何を) していたか シヨツタ デー
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ミヨツタ

38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①シニソーニ ナツチャー／②シニョル／③シニカ  
 カッチュー ①は金魚が弱ってひよろひよろしている状態、②は金魚が腹を上に向けて  
 アップアップしている、死ぬ寸前の状態。このように、瞬間動詞にも接続可能である。
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ シンデシモータ
40. 読み始めていた ヨミハジメヨッタ トコロヤッタ
41. 読み始めたところへ(～た) ヨミカケタ トコロエ
42. 着くと同時に～した ツクナリ 43の場合は使えない。
43. 着くと同時に～してくれ ①イキツイタラ／②ツイタラ スグニ
44. 鳴りつづけている ナリユー
45. (先生は今何を) しているか ①シュ(一) ゾネ／②シヨウ ゾネ
46. 好きだ ①スイチャー／②キニ イッチュー
47. 見られているのも ミラレユーノニ
48. (今、運動会が) ある ①ハジマツチャー／②アリユー／③ヤリユー
49. (降らなくて) よかったよ ①シヤワセヤッタ／②ヨカッタ
50. (先生がこっちへ) 来つつある ①キュー／②キョル
51. (犬がこっちへ) 来つつある ①キュー／②キョル
52. 似ている ニーチャー
53. (一週間も前から遊びに) 来ている キチャー
54. (昔から) 苦勞していない ①ナンギ シテナイ／②ナンギ シチョラン ②は田  
 舎(物部村)のことば。
55. (今はあまり) 苦勞しないでいる ①ナンギナ コトワ ナイ／②ナンギ ショリ  
 ャ セン
56. ～は売っているが、～は売っていない ～ ウリユーケド ～ ウリヤ(ヤリヤ)  
 セン
57. (昔からタバコを) 売っている ウリユー
58. (今、大売り出しで衣料品を) 売っている ウリユー
59. (もう三回) 来ている サンカイバークタ コト アル。三回ぐらいはきた  
 ことがある。
60. (いつも) 来ている ①ショツチャー キユー／②チョイチョイ キユー ①②は  
 来ている頻度が違うだけで、キユーの言い方は変わらないが、キユーはキョルとも言う。
61. (昔はいつも) 来ていた キヨッタ
62. (前に一度) 行っている ①イッタ コト アル／②イッチュー
63. 先に行っておいてほしい サキ イチョツテ
64. 待っていなさい マチヨツテ ヨ
65. (外に) 待たせてあるよ マタセチャー

66. 食べておいてくれ タベチョリ ヨ すぐ後から追い付く場合は「タベヨリ ヨ」を用いて、完了（チョリ）と進行（ヨリ）とを区別する。
67. （昔と）違っている チゴーチュー
68. （昔は今のと）違っていた ①チガウ／②チゴータ／△③チゴーチョッタ ③は誘導によったが、言いにくいという説明が加えられた。
69. （毎日梅干しを）食べている ①タベユ／△②タベヨルも使う。
70. （毎朝）している ①シユ／△②シヨルも使う。69とともに「～ヨル」は誘導によったが、「～ユ
71. 気をつけていて（～した） ①キオ ツケユケド／②キオ ツケヨッタケド
72. 行ったまま～ ①イッタママ／②イッタキリ／③イッタナリ ③は昔からの田舎（物部村）のことば、②は最近のことば。
73. ～しながら シモッテ
74. ～の途中で～する イキガケニ
75. ～の途中で～した イキヨッタラ
76. ～の途中で止めて～した ①ヨミカケテオイテ／②ヨミカケテ
77. ～したばかりだ ヨンダバ
78. 無くなっている ①ナイナッタ／②ナイナツチュ
79. 無くなるぞ ナイナル ゾ
80. 掛けておいた帽子 カケチャツタ
81. 並んだ本 ナランジュ
82. 並べた本 ①ナランジュ／②ナランジョル 81との区別はなされなかった。
83. ～しておこうか ①ヨンジョイタラ エイ ネ／②ヨンジョコ カ／③ヨンドイタラ エイ ネ。読んでおいたらいいね。
84. やってあるか ①ヤツタ カ／△②ヤツチュ カ ②は誘導により、しばらく考えてからの回答。
85. 壊している ①コワシユ／②コワシヨル／③コワシヨウ ②③の発音の微妙な差異については、「ル」か「ウ」かわからないような、「ヨウ」か「オウ」かわからないような中間的な発音、という説明が加えられた。
86. 壊れている ①コワシチュ／②ヤブシチュ／△③コワレチュ
87. 壊されている ①ヤブレチュ／②ヤブレテ コワシチュ／③ワツチュ（瀬戸物の場合）
88. のけてある ノケチョキ ヤ
89. 書き終わった カイテシモータ
90. 書いてしまいなさい ①カイテシマイ ヤ／②カイテシモーチョキ ヤ
91. 書いてしまう カイテシモータ

92. 書いてみた カイテミタ
93. (孫は今)入院している ニューイン シチュー
94. (弟も今)入院しているそうだ ニューイン シチューラシー
95. (きっと)よくなるよ ①ナオルロー / ②ナオリヨイロー / ③ハヤ ナオル
96. (だんだん)よくなるよ ジワジワ ヨー ナルロー
97. 歳とるとね、①トシオ ヨセルト / ②トシガ イクト / ③トシガ ヨルト
98. なおらなくなるよ 「なおらなくなってくる」を用いる。
99. (1) (犬が)怪我したので ケガオ シタキニ  
 (2) (子どもが)怪我したので ケガオ シタキニ  
 (3) (お父さんが)怪我したので ケガオ シタキニ  
 (4) (雨が)降ってきたので フッテキタキニ
100. (1) 「雨が降りつつある」は、B「今、ぼつぼつ降り始めた」状態とC「すでに盛んに降り続けている、降っている最中である」状態とを言う。  
 (2) 「貯金が増えつつある」は、A「貯金が少しずつ増えようとしている」状態を表す。○ナカバグライヤネー。 ダンダント フエテキダシタト ユー チョキングガ デキダシタト ユー トキニ…… 半ばぐらいだねえ。だんだんと増えてきたという(時)、貯金ができはじめたという時に……  
 (3) 「貯金を増やしつつある」は、B「増やそうとして少し貯金をし始めた」状態を表す。

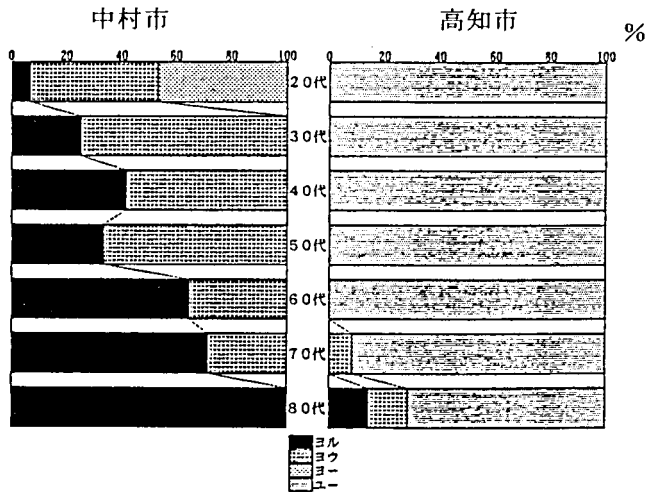
### Ⅲ. 総括(まとめ)

- (1) 高知県方言は、高知市を中心とする東ことばと、中村市を中心とする西ことばとに、大きく二分される。当該方言は東ことばに属しており、西ことばとは少し異なる特徴が認められる(橋田英子氏の報告参照⇨(6))。
- (2) 進行態(継続態)は～ユー・～ヨル・～ヨウによって、結果態(存在態)は～チュー・～ Chol・(～チョウ)によって、それぞれ表される。このうち、～ユーと～チューは終止形と連体形にのみ現れる語形である。
- (3) ～ヨルは、19①チリヨル 38②シニヨル 50②キヨル 51②キヨル 69②タベヨル 70②シヨル 85②コワシヨル の7項目で回答され、このうち、6項目までが第2回答であることからわかるように、終止形・連体形では、～ユーが優勢である。
- (4) ～ヨルの r 子音が脱落した～ヨウが、45②シヨウ 85③コワシヨウのように出現したが、話者の内省も筆者の観察も、～オウに近い発音であったことに留意したい。また、～ヨー・～オーのようなオ列長音が聞かれないのも特色と考えられる。
- (5) ～Cholは、20②チッChol の1項目で回答された。～ヨルほど多くなく、しかも、～チョウは今回の調査では得られなかった。
- (6) (2)(3)(4)(5)の発音上の差異については自覚的ではなく、したがって、機能上の差異は

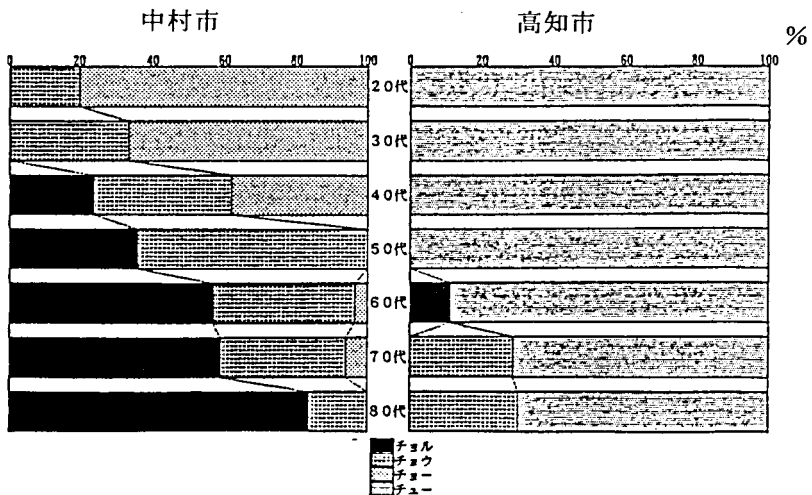
認められないと判断される。しかし、使用頻度においては、位相差、とりわけ年齢差が大きいとする興味深い調査結果の報告があるので、以下に引用する。

※橋田英子「中村・高知市方言の地域差に関する考察」（1992年度高知大学卒業論文）

pp.31～35



高知市では「ユー」が全年層にわたり、盛んである。(中略)しかし、70・80代では「ヨル」「ヨウ」「ユー」を併用しており、そこに、音変化の過程をみることができる。



高知市では「チュー」が全年層にわたり、盛んであるのがわかる。(中略)このように、高知市では、継続態と同様、結果態でも [u] の長母音化した「チュー」が全年層で定着している。しかし、老年層では、「チョル」「チョウ」を併用しており、そこに「チョル」>「チョウ」>「チュー」と音変化した過程をみることができる。

(うへの さとこ 高知大学人文学部)